



令和6年6月6日

杉戸町議会議長
伊藤 美佐子 様

日本共産党
議席番号7番 江口 栄子

政務活動結果報告書

下記の通り、研修会に参加しましたので、報告いたします。

1. 研修名：よくわかる市町村財政分析基礎講座
2. 研修日：令和6年4月21日（日）・22日（月）
3. 研修場所：東京たま未来メッセ 第2会議室
4. 研修内容：自治体の財政状況を把握するために、主に総務省が公表している
決算カード、類似団体比較カードや財政状況資料集の見方を学び、
数字背景を読み解く力を養う講座
第1講 議員・市民が財政を学ぶ意義
第2講 財政収支はどうなっているか？—収支の話
第3講 歳入の仕組み
第4講 歳出の仕組みを考える① 性質別歳出
第5講 歳出の仕組みを考える② 目的別歳出
第6講 指標を用いた振り返り
第7講 グループワークおよびまとめ
講師 石山雄貴 氏（鳥取大学准教授）、菊池稔 氏（名寄市立大学講師）
目黒重雄 氏（元府中市議会議員）

5. 研修結果：令和4年度決算状況を見ながら、学びました。

歳入の状況、経常一般財源等、地方交付税、一般財源、地方債、臨時財政
対策費などを学びました。性質別歳出の状況を見ながら、6大費目、経常経費

充当一般財源等、経常収支比率、標準財政規模、財政力指数を学びました。

分析用紙に決算カード等から自分で「分析表」に転記してみました。

自治体というのは、予算がつかないと何もできないということが分かりました。

「住民の生活を守り、要求を実現するため」財政用語や財政指数が少しでも理解できたのは良かったです。



令和6年6月6日

杉戸町議会議長
伊藤 美佐子 様

日本共産党
議席番号7番 江口 栄子

政務活動結果報告書

下記の通り、研修会に参加しましたので、報告いたします。

1. 研修名：「第52回議員の学校」オンライン受講
2. 研修日：令和6年5月8日（水）13：00～16：10
9日（木）10：00～15：00
3. 研修場所：自宅
4. 研修内容：地域経済と地域産業
～地域と住民生活を守るための地域産業循環・市町村の役割～
 - ゲスト講義 講師： 鈴木宜宏氏 東京大学大学院特任教授
「日本の食と農をどう守るか」
あと10年したら日本の農業・農家は崩壊しかねません。人が生きていくうえで欠かせない、かつ安全な「食」と、地域の暮らしに深く結びついた「農」をどう守るか。さまざまな取組を学びました。
 - 実践報告と提言 堂前利昭氏 石川県議会議員
「令和6年 能登半島地震後の現状と課題」
 - シリーズ講義（2） 講師：石川 満氏
元日本福祉大学教授・多摩住民自治体研究所理事
「生活保護制度を使いやすいものに」
市町村議員に必要な「生活保護制度」の基礎知識と、すべての人が尊厳をもって地域で暮らせるよう、市町村は何をすべきかを学びました。

■ 集中講義 講師：八幡一秀氏

中央大学名誉教授・多摩住民自治研究所理事

「地域社会における中小企業の役割と中小企業振興条例」

地域経済で大多数を占める小規模企業の役割についての基礎と、自治体で作成が進められている「中小企業・小規模企業振興条例」について、先進事例から学びました。

5. 研修結果（提言）

■ 「日本の食と農をどう守るか」

日本の食料自給率は種や肥料の自給率の低さも考慮すると38%どころか10%あるかないか、海外からの物流を停止したら世界で最も餓死者が出る国との試算。地域の種を守り、生産から消費まで「運命共同体」として地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏。1つの核は、学校給食の地域公共調達。農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕す。

安全な食料を生産し、加工し、流通し、消費する人たち、その関連産業の人たちが、支え合い、子や孫の世代の健康で豊かな未来を守りたい。

「みどりの食料システム戦略」は起死回生の流れか。

農林水産業は、国民の命、環境・資源、地域、国土・環境を守る安全保障の柱、国民国家存立のかなめ、「農は国の本なり」。基本法と二本立て、大胆な食料安保確立予算の緊急執行のための「食料安全保障推進法」を早急に議員立法で制定し、破綻した新自由主義政策を一掃して抜本的に国家戦略を再構築する。

■ 「令和6年 能登半島地震後の現状と課題」

令和6年1月1日16:10に発災した能登半島地震で、堂前利昭県議は、住んでいる能登町が被害にあった。写真を見せてくれながら、様子を話してくれました。能登に来て、今すぐ来て、見に来てほしい。

・1月1日 16時55分55秒 家屋の下敷きになった人を地域の人が集まって救出した。

・1月1日 16時58分46秒 液状化の影響で道路の陥没やマンホールが飛び出す。

・開設間もない避難所の様子。「堂前さん、助けてください。」みんな、誰かにすがりたい。避難所回りをして、励まして回った。

自閉症の子供を持った人は、避難所だとみんなに迷惑をかけるからと、車中泊をしていた。

千枚田、輪島黒島漁港、珠洲市は家が津波、地震で倒壊した。津波で自家用車が流されて、家の前でぶつかり合っていた。土砂崩れで、家が倒壊した。
地震による石川県の被害(4/29午後2時現在)

- ・死者は、245(15)人 ・行方不明者数 3人
- ・負傷者数 1196人 住宅損傷戸数 78383戸
- ・能登町の人口15400人→ 3月7000人位 半分に減った。
- ・避難所回りに聴こえた住民の声
 - ①衣食住 ②仕事 ③トイレの問題 ④物資の不公平さ
 - ⑤避難所ごとでの対応の違い ⑥市町で支援内容の違い
- ・応急的な住いの支援について
(必要戸数) 6421戸 → 5月末までに約4500戸 → 6月末までに約5000戸 → 8月中に必要な住宅の完成を目指す
- ・災害ボランティアについて
- ・これからの能登
 - ①世界農業遺産を活かした形で環境整備を行いたい
 - ②人口流出の課題とともに人口流入についても強く取り組みたい
 - ③過疎化地域の防災先進モデルをめざす

■「生活保護制度を使いやすいものに」

- ・憲法並びに生活保護法の規定 ・生活保護の利用者に対する府定説な対応
- ・厚生労働者HPを見る(制度の概要・級・生活扶助基準)
- ・生活扶助基準額を計算してみよう ・生活保護の実施状況
- ・扶養調査について ・国民生活基礎調査の概況 ・就学援助実施状況
- ・学校給食費の無償化 ・権利性の明確な「生活保障法」の制定を(日弁連)

■「地域社会における中小企業の役割と中小企業振興条例」

1. 地域社会における中小企業の役割

～地域循環型経済の可能性～

- ①小さくても偉大な創造力(ものづくり、新サービス、製品開発など)
- ②地域に根差したきめ細かい利便性(地域ごとに発生する細かい需要への適合)
- ③4時間住民として地域社会を支える社会性
- ④地域の住民生活を支える経済合理性

2. 地域循環型の中小企業振興政策

～自治体の中小企業振興条例づくり～

資料 墨田区中小企業振興基本条例



令和6年12月7日

杉戸町議会議長
伊藤 美佐子 様

日本共産党
議席番号7番 江口 栄子

政務活動結果報告書

下記の通り、研修会に参加してきましたので報告致します。

1. 研修名 : よくわかる市町村財政分析講座
財政状況資料集から読み解くわが町の財政
 2. 研修日 : 2024年11月17日～18日の2日間
 3. 研修場所 : 都立多摩図書館（東京都国分寺市）
 4. 研修内容 : 類似団体比較カードや財政状況資料集から、自分の自治体を知り今後の課題や展望を学びます。地方財政の健全化に何が大切なのか、それぞれのデータが示す本来の意味を考え正確な判断ができるようそのポイントを学びます。
 - 1日目 第1講 議員・市民が財政を学ぶ意義
第2講 収支状況をつかむ
第3講 歳入の仕組み
 - 2日目 第4講 歳出の仕組み① 性質別歳出
第5講 歳出の仕組み② 目的別歳出
第6講 財政指標を用いた財政分析
第7講 地方公共団体財政健全化法と健全化判断比率の真意を探る
- 講師 目黒重夫氏 多摩住民自治研究所
石山雄貴氏 鳥取大学地域学部准教授
菊池 稔氏 名寄市立大学保健福祉学部講師

5. 研修結果（提言）

予算書・決算書は数字ばかりだが、住民の暮らしと仕事がかかっている。財政分析を学ぶ意義は、「住民の生活を守り、要求を実現するため」である。限られた歳入の中で何を優先させるのか、その必要性和財政的裏付けが必要である。そのためには、財政の現状・将来など全体像を把握し、行政と対等に議論ができる知識が必要。

それには自分で「財政分析」を行い身に付けることが大事。令和4年度の財政状況資料集、決算カード、地方交付税算定台帳（総括部分・表の2枚）、類似団体比較カード、決算統計の地方債現在高の状況を準備して参加した。

財政分析資料集から自分で「分析表」に転記しながら、学習を進めた。財政専門用語の定義と各種公式を学んだ。いろんな財政用語があり難しい。

令和4年度杉戸の実質単年度収支、歳入の体系、歳入決算額の構成（額）比、決算額の科目順位（目的別歳出）、目的別歳出の「充当一般財源等」の科目順位、経常収支比率の科目順位、財政指標、実質公債費比率、将来負担比率など書き込み学習を進めた。

住民に目を向けた、住民の立場に立った「財政健全化」が実現できるよう、今後の議会活動を通じて取り組んでいきたい。